

2019年度卒業生調査からみる「社会人基礎力」のとらえ方～「就職先企業等に対する大学・大学院教育の成果に関するアンケート調査」から～

教育推進機構

調査実施期間 2019年12月～2020年1月

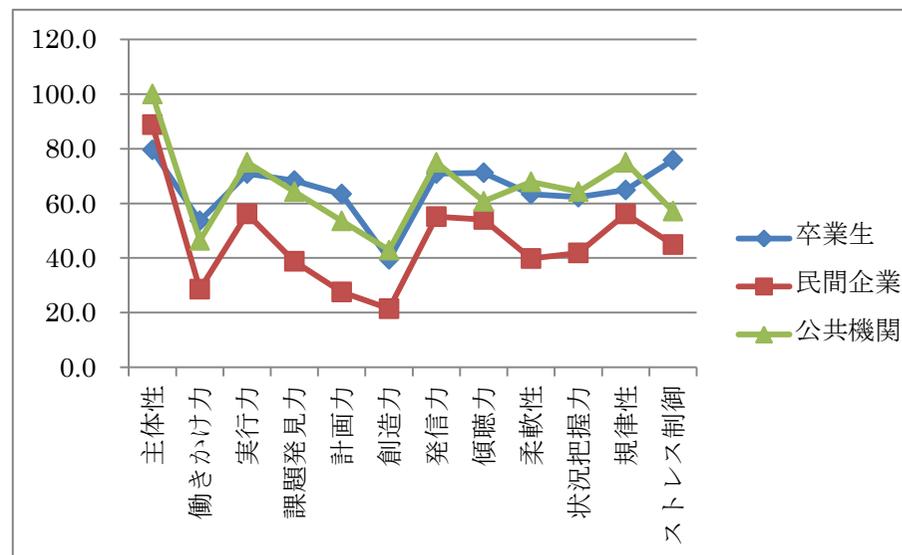
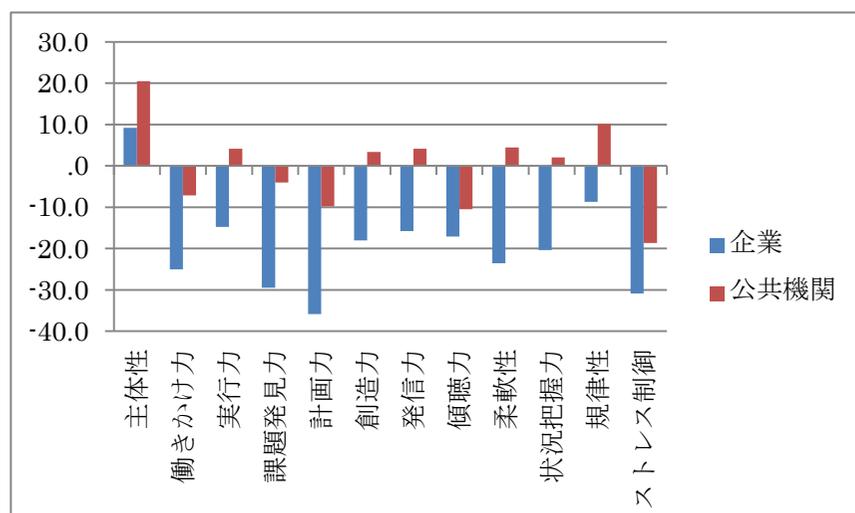
回答者数 卒業生347人，民間企業98事業所，公共機関34機関

「社会人基礎力」は，経産省が打ち出したもので，3つの能力「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」を核に，さらに「12の能力要素」によって構成される。尺度としては抽象的で主観に頼るものであり検査尺度としての信頼性や妥当性には疑問があり，実際の能力・スキルなどについては実証性が怪しく，恣意的，便宜的に使われている。しかし，多くの企業や団体，教育機関で一つの指標として用いられており，その点では比較検討の材料となる。

「働く上で重要な能力」と認識されている社会人基礎力の内容

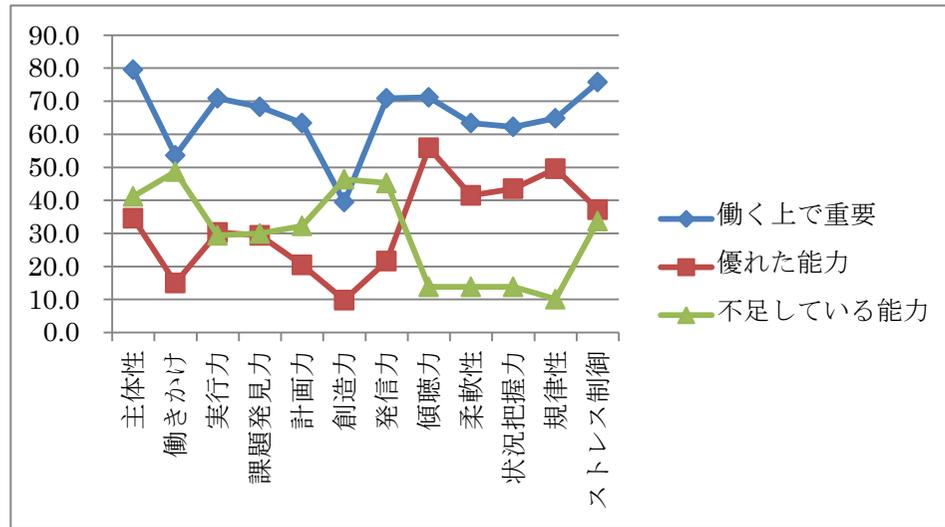
		主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレス制御
民間企業	企業数	87	28	55	38	27	21	54	53	39	41	55	44
	%	88.8	28.6	56.1	38.8	27.6	21.4	55.1	54.1	39.8	41.8	56.1	44.9
公共機関	機関数	28	13	21	18	15	12	21	17	19	18	21	16
	%	100.0	46.4	75.0	64.3	53.6	42.9	75.0	60.7	67.9	64.3	75.0	57.1
卒業生	人数	276	186	246	237	220	137	246	247	220	216	225	263
	%	79.5	53.6	70.9	68.3	63.4	39.5	70.9	71.2	63.4	62.2	64.8	75.8

重要性の認知の比較：卒業生の選択率を0として表示

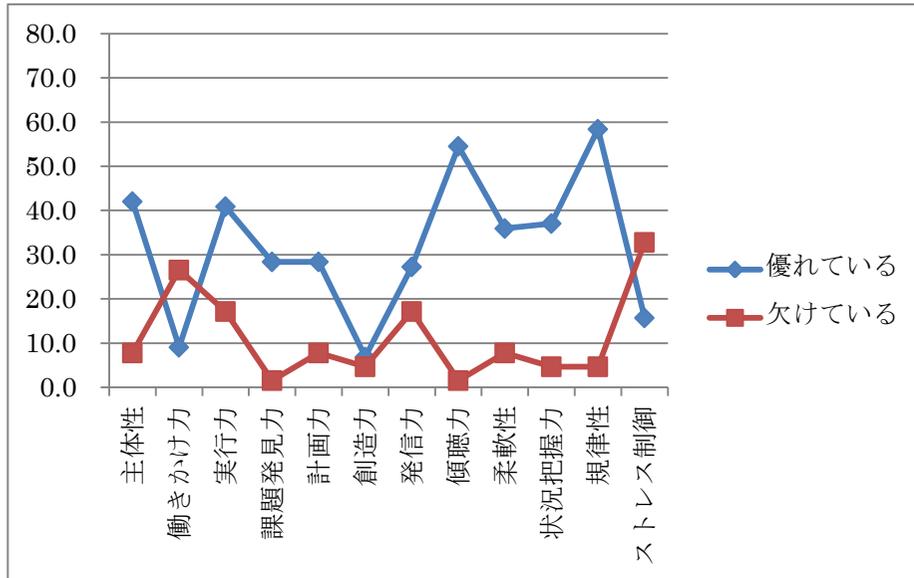


卒業生の社会人基礎力についての認知

「働く上で重要」「優れている能力」「不足している能力」について、それぞれの選択率



企業から見た「福島大学卒業生」の「優れている」「欠けている」認知度



公共機関から見た「福島大学卒業生」の「優れている」「欠けている」認知度

